



報道機関各位

平成29年4月17日  
アジア低炭素化センター  
(北九州市環境局環境国際戦略課)

**フィリピン初となる廃棄物発電施設の導入を目指す！  
新たにカンボジアとミャンマーを加え、海外5ヶ国での環境ビジネス案件を支援！  
～フィリピン/ベトナム/タイ/カンボジア/ミャンマー～**

アジア低炭素化センターは、平成22年6月設立以来、市内企業等の海外展開を積極的に支援しており、これまで106社と連携して国等の資金を活用した調査・実証を143件実施しています。

このたび、アジアの5ヶ国の都市・地域において、環境省の支援事業を活用し、新たに環境ビジネス案件の支援を行うことが決まりましたので、お知らせします。なお、採択された案件を支援する行政機関としては北九州市が最多です。

各都市・地域で、複数の環境ビジネス案件に焦点をあて、詳細調査を行うことにより、省エネルギーやリサイクルの推進に貢献するほか、本市内企業の海外ビジネス展開を加速します。さらには、本市と各都市・地域の更なる連携強化につなげます。

記

**1 環境省－平成29年度我が国循環産業の戦略的国際展開による海外でのCO2削減支援事業－**

**(1) ダバオ市での廃棄物発電事業にかかる準備調査・事業化検討【フィリピン】**

ダバオ市と北九州市の戦略的環境パートナーシップ協定の枠組の下、フィリピン初となるダバオ市での廃棄物発電事業の実施に向け、前提条件（ごみ質、土質等）の詳細調査、許認可・制度調査、現地パブリック・コンサルテーションなどを実施する。

**2 環境省－平成29年度低炭素社会実現のための都市間連携に基づくJCM案件形成可能性調査事業－**

**(1) ハイフォン市・低炭素化促進事業／北九州市－ハイフォン市連携事業【ベトナム】**

平成26年4月に姉妹都市となったハイフォン市と北九州市の都市間協力の枠組みの下、3つのタイプのプロジェクトに関して調査を実施する。1)都市ごみと、工業団地から排出される産業廃棄物の混焼による廃棄物発電事業、2)セメント工場の廃熱回収発電等のCO2排出削減量の大きいプロジェクトの発掘、3)離島における独自の資金調達メカニズムと組合せた低炭素化プロジェクト。

**(2) タイ国 チェンマイ県・エコ・インダストリアルタウンにおける低炭素化モデルの実現及び普及推進事業【タイ】**

チェンマイ県ならびにタイ工業省工場局(DIW)、工業団地公社(IEAT)の協力関係の下、エコ・インダストリアルタウン化を進める工業団地やチェンマイ県内の商業施設を中心に、省エネ化の推進、再生可能エネルギーの導入等を通じて、大幅な温室効果ガス排出量の削減を目指す。

**(3) タイ国 チェンマイ県・統合廃棄物管理計画における高効率廃棄物処理施設の導入【タイ】**

チェンマイ県が計画する統合的廃棄物管理事業への包括支援から派生する都市固形廃棄物適正処理事業に日系企業が有する高効率、低環境負荷型処理施設を導入し、大幅な温室効果ガス排出量の削減を目指す。

**(4) プノンペン都における省エネ・再エネの導入促進による低炭素化推進事業【カンボジア】**

平成 28 年 3 月に姉妹都市となったプノンペン都と北九州市との都市間協力の枠組みの下、エネルギーコスト削減のニーズを有する企業の要望にきめ細やかに対応したカスタマイズ提案や、太陽光発電システムなどの機器導入と金融サービスをパッケージ化し利用者負担を軽減した ESCO 型ビジネスモデルの創出等を通じて、プノンペン都の低炭素化を促進する。

**(5) マンダレー地域における省エネ・再エネ導入促進による低炭素化推進事業【ミャンマー】**

今後の経済発展が期待されるミャンマー連邦共和国・マンダレー市との協力関係の下、大型ホテルや病院等を対象に空調設備等の省エネ化や太陽光発電システムの導入、また、籾殻や家畜糞尿などの地域のバイオマスを活用した発電システム等を導入し、大幅な温室効果ガス排出量の削減を目指す。

平成 29 年度 環境省補助事業一覧

公募	上段：【地域】 / 件名 下段：◎実施主体、○共同実施者
1	<p>平成 29 年度我が国循環産業の戦略的国際展開による海外での CO2 削減支援事業</p> <p>(1) フィリピン・ダバオ市 ダバオ市での廃棄物発電事業にかかる準備調査・事業化検討</p> <p>◎新日鉄住金エンジニアリング株 ○北九州市、(公財)北九州国際技術協力協会、(公財)北九州市環境整備協会、(公財)地球環境戦略研究機関</p>
2	<p>低炭素社会実現のための都市間連携に基づく JCM 案件形成可能性調査事業(※)</p> <p>(1) ベトナム・ハイフォン市 ハイフォン市・低炭素化促進事業/北九州市-ハイフォン市連携事業</p> <p>◎株エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 ○北九州市</p> <p>(2) タイ・チェンマイ県① タイ国チェンマイ県・エコ・インダストリアルタウンにおける低炭素化モデルの実現及び普及推進事業</p> <p>◎株エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、○北九州市</p> <p>(3) タイ・チェンマイ県② タイ国チェンマイ県・統合廃棄物管理計画における高効率廃棄物処理施設の導入</p> <p>◎株エックス都市研究所 ○北九州市</p> <p>(4) カンボジア・プノンペン都 プノンペン都における省エネ・再エネの導入促進による低炭素化推進事業</p> <p>◎株エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、○北九州市</p> <p>(5) ミャンマー・マンダレー市 マンダレー地域における省エネ・再エネ導入促進による低炭素化推進事業</p> <p>◎株日建設計シビル、○北九州市、株エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所</p>

※JCM (Joint Crediting Mechanism) : 二国間クレジット制度であり、途上国への温室効果ガス削減技術・製品・システム・サービス・インフラ等の普及や対策を通じ、実現した温室効果ガス排出削減・吸収への日本の貢献を定量的に評価し、日本の排出削減目標の達成に活用するもの。

本件に関するお問合せは下記窓口へお願いします。

【問合せ窓口】 アジア低炭素化センター (北九州市環境局環境国際戦略課) 担当：安武、小川 (TEL : 6 6 2 - 4 0 2 0)